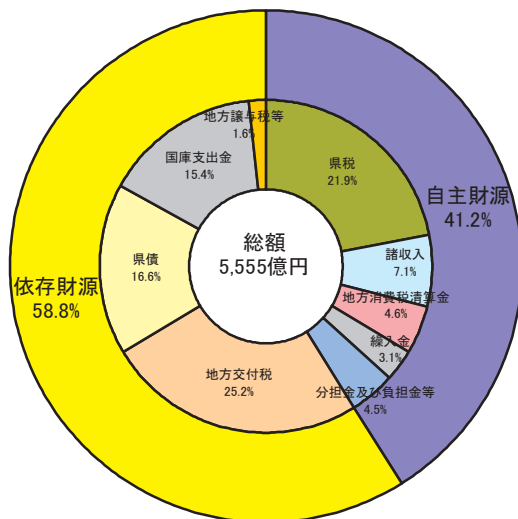


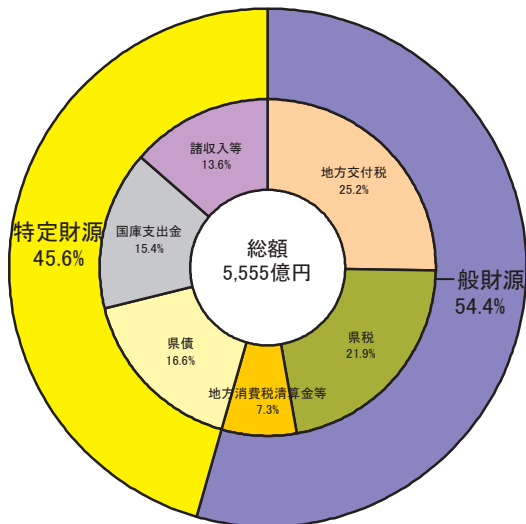
## II 歳入、歳出それぞれについて詳しく教えてください。

### 一般会計歳入の状況 (H16 決算)

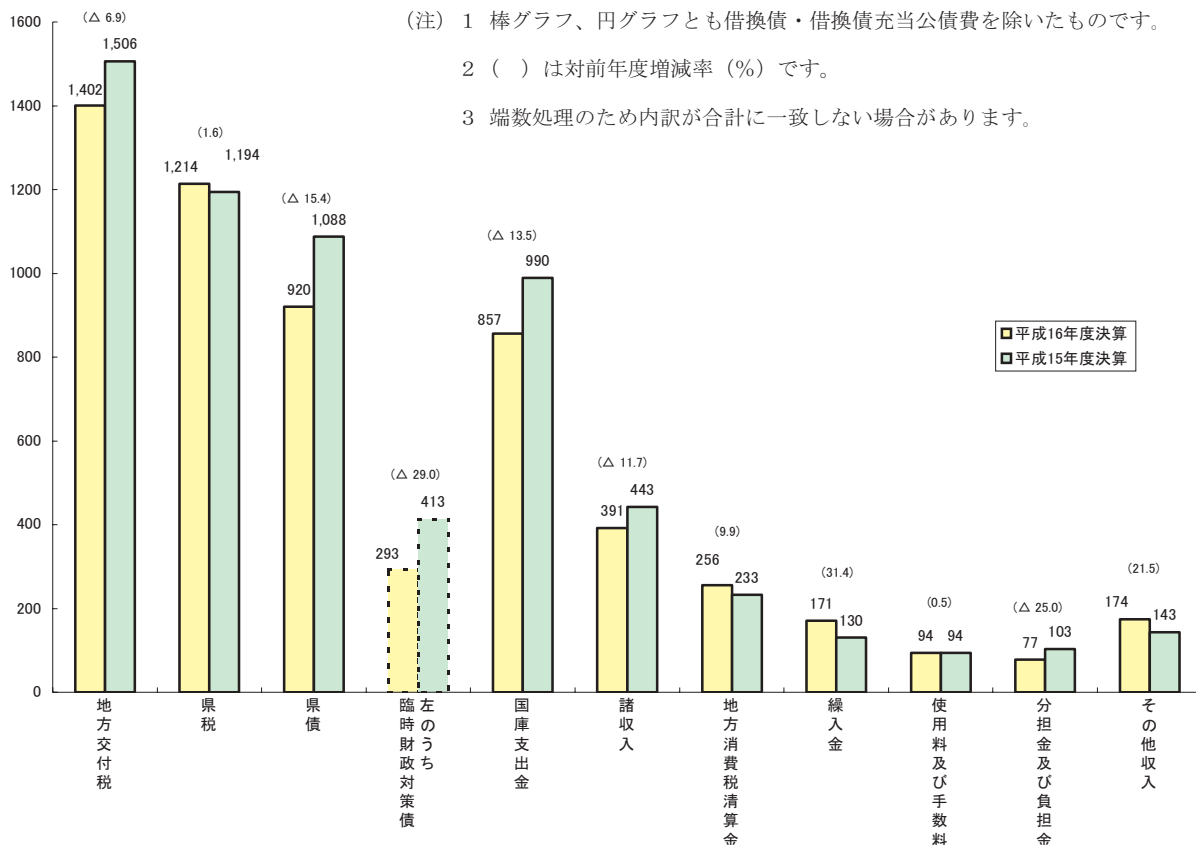
歳入自主財源・依存財源別



歳入一般財源・特定財源別

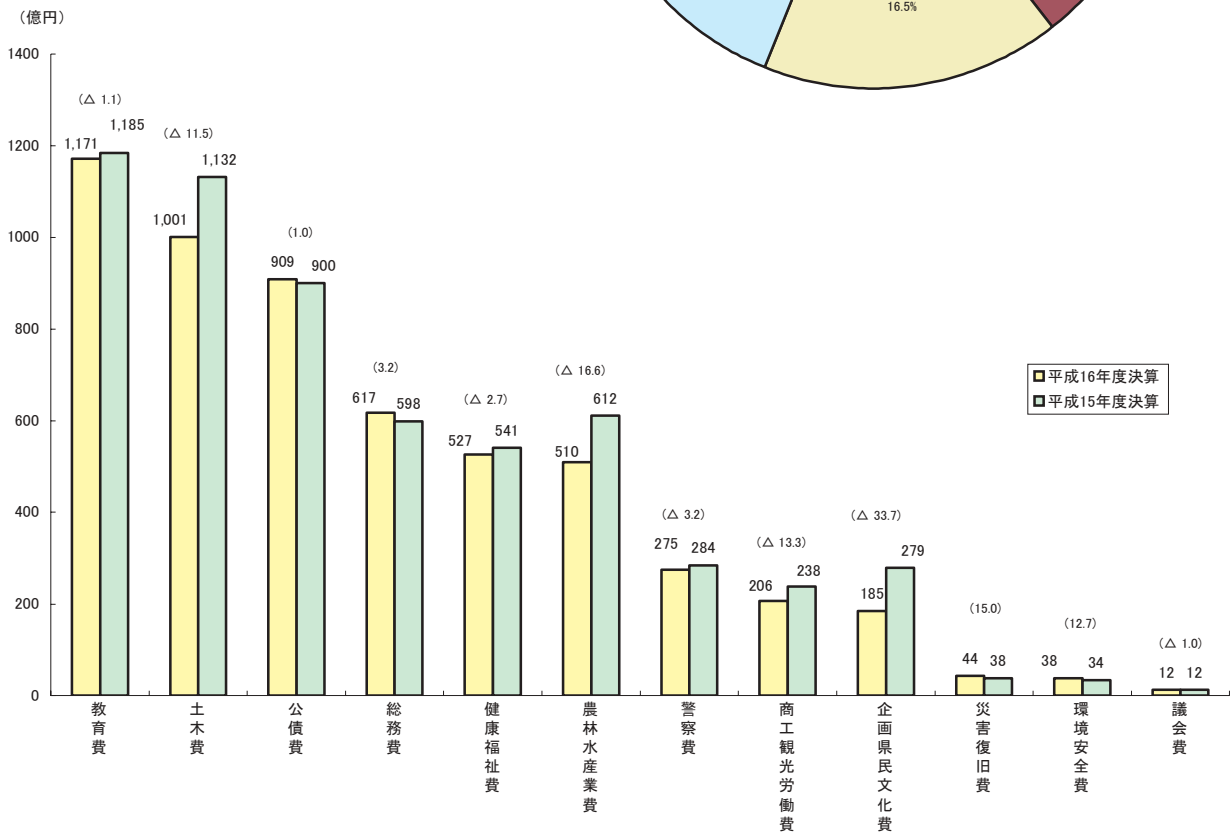
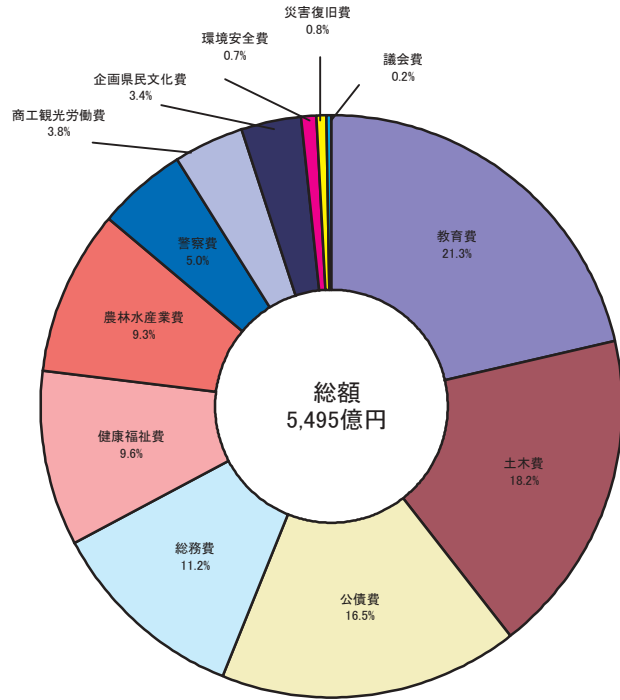


(億円)



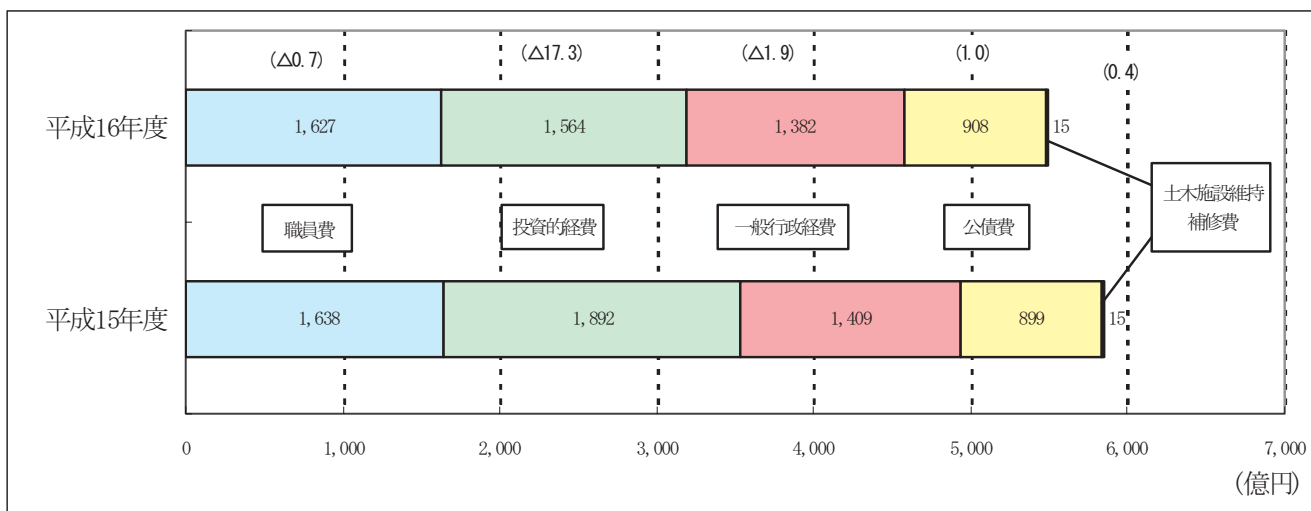
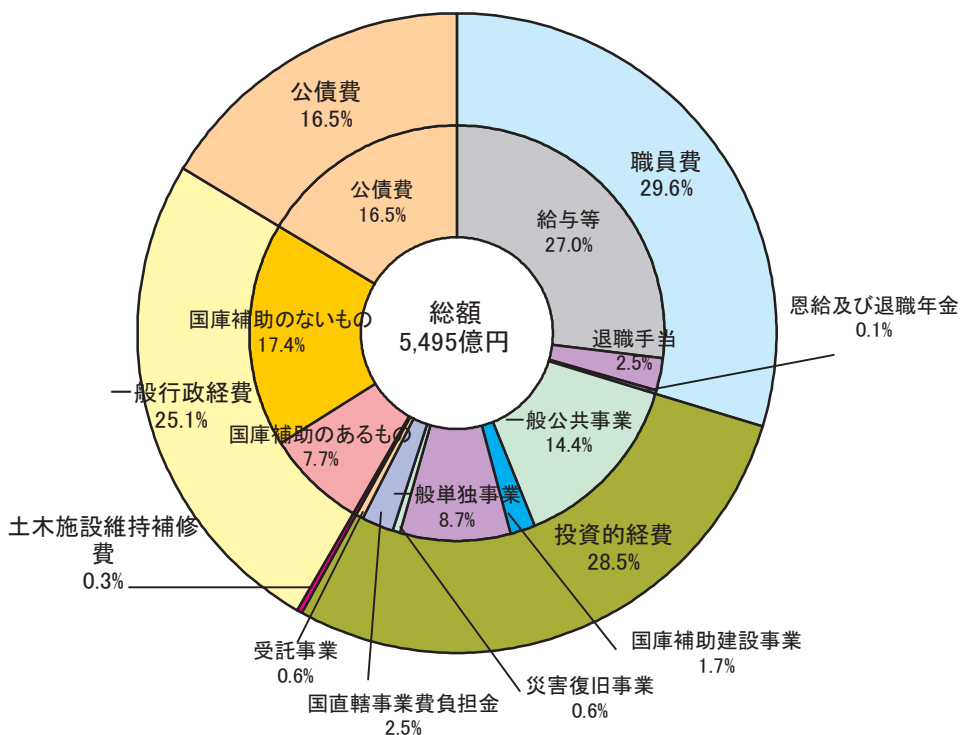
- 地方交付税は、国の大幅削減により対前年度比 6.9%、105 億円の減となりました。(臨時財政対策債とあわせた実質交付税ベースで対前年度比 11.7%、224 億円の減)
- 県税は、法人関係税が対前年度比 6.2%(22 億円)と 2 年連続の増収になるなど、全体として対前年度比 1.6%(20 億円)と 4 年ぶりに増加しました。
- 県債は、地方債発行抑制や事業費の縮減に努めたことや臨時財政対策債の発行額が減少したため、対前年度比 15.4%、168 億円の減となりました。

一般会計歳出の状況(目的別(款別)内訳) (H16決算)



- 歳出を目的別(款別)にみると、構成比では教育費 21.3%が最も大きく、次いで土木費が 18.2%、公債費が 16.5%となっています。
- 企画県民文化費は、能登空港、小松駅周辺文化施設の整備完了に伴い対前年度比 33.7%、農林水産業費は、公共事業などの投資的経費の抑制に伴い対前年度比 16.6%の減となりました。

一般会計歳出の状況(性質別内訳) (H16 決算)



- 歳出を性質別にみると、構成比では職員費 29.6%が最も多く、投資的経費が 28.5%、一般行政経費が 25.1%となっています。
- 投資的経費は順次抑制することとしており、重点化やコスト縮減に努め総額の抑制を図ったことや能登空港の整備が完了したこととも相まって、対前年度比 17.3%の減となりました。